

決算説明資料

# 2022年12月期 第1四半期

2022年5月6日

株式会社トレードワークス  
証券コード：3997

2022年12月期 第1四半期 連結業績

売上高	営業利益	当期純利益
<b>1,009</b> 百万円	<b>239</b> 百万円	<b>141</b> 百万円

(参考：前年同期の単体数値)

474百万円

0.8百万円

0.5百万円

- 株式会社あじょを子会社化。通期連結業績に与える影響は軽微
- 第1Qは、社内計画通りに進捗し、前年同期と比べ、大幅な増収増益
- 「既存事業の強化と次世代金融領域及び次世代デジタルコマース領域への投資」の当期の位置づけを2Q以降も遂行。

\* 当社は2022年3月18日付で株式会社あじょを子会社化しております。これに伴い2022年12月期第1四半期より連結決算となっております。第1四半期につきましては、貸借対照表は連結対象としておりますが、損益計算書につきましては、第2四半期より連結対象となります。

3月18日

ソフトウェア開発の強みを持つ  
株式会社あじよの株式を100%取得し、子会社化。

子会社化により、当社グループの次世代金融への取り組みと  
新領域への進出により事業領域を拡大

## 株式会社あじよ 会社概要



### ■設立

1995年11月

### ■本社所在地

大阪府中央区

### ■主な事業内容

- ①IT（業務）コンサル
- ②システム構築
- ③システム運用支援（コンシェルジュ）



増収効果に加え、金融システム開発で培ったコア技術をベースとしたECおよびAR・VRコンテンツなどの非金融サービスの提供により大幅増益。

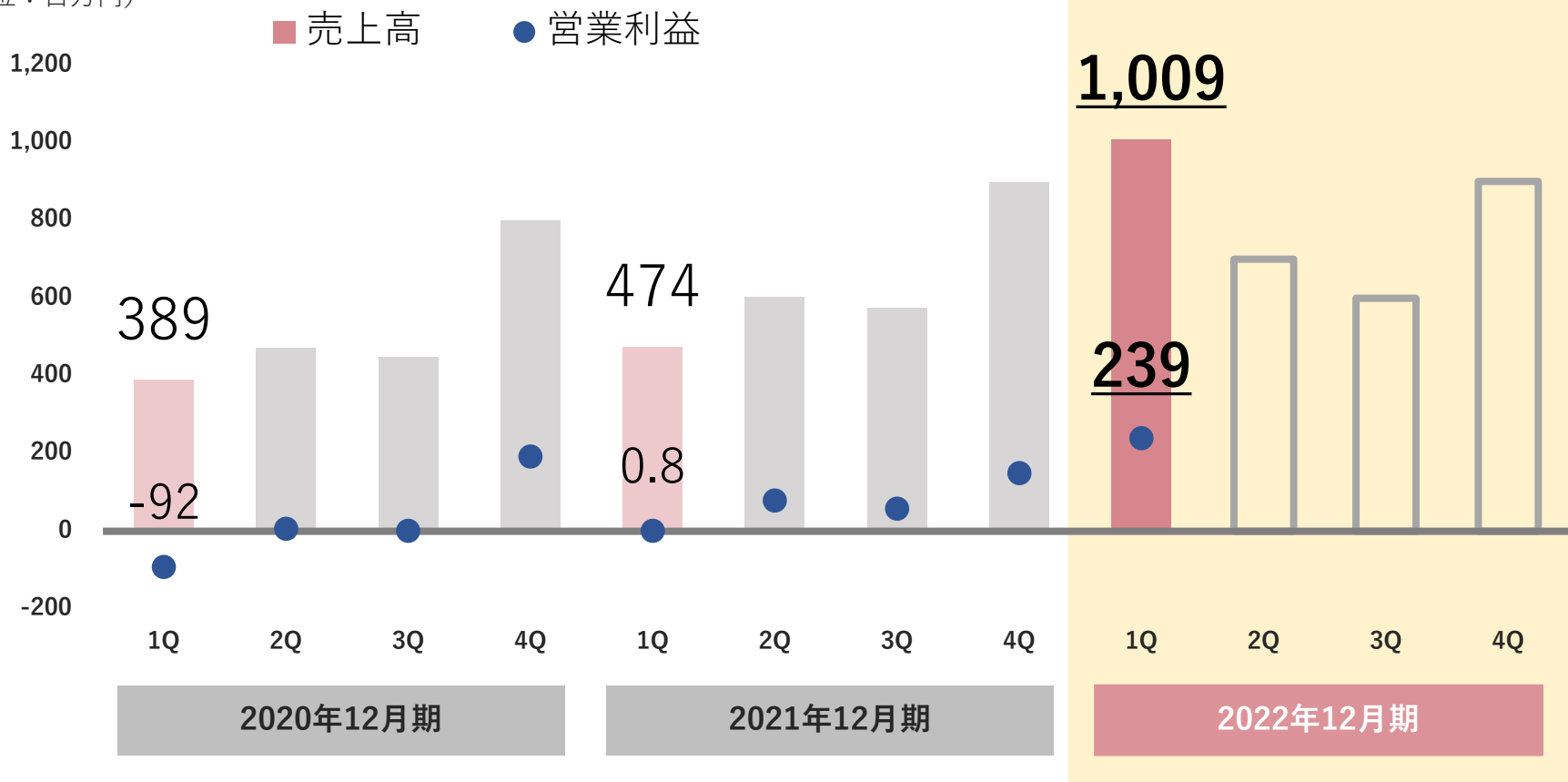
(単位：百万円)	2021.12期 1Q	2022.12期 1Q	2022.12期 予想	進捗率
	単体	連結	連結	連結
売上高	474	<b>1,009</b>	3,200	31.5%
営業利益	0	<b>239</b>	300	79.6%
経常利益	1	<b>242</b>	300	80.6%
四半期純利益	0	<b>141</b>	190	74.2%

\* 当社は2022年3月18日付で株式会社あじょを子会社化しております。これに伴い2022年12月期第1四半期より連結決算となっております。  
第1四半期につきましては、貸借対照表は連結対象としておりますが、損益計算書につきましては、第2四半期より連結対象となります。

## 売上高・営業利益（四半期推移）

前期末の受注残が売上に寄与したことに加え、収益認識に関する会計基準等を適用したことにより売上・利益が増加。

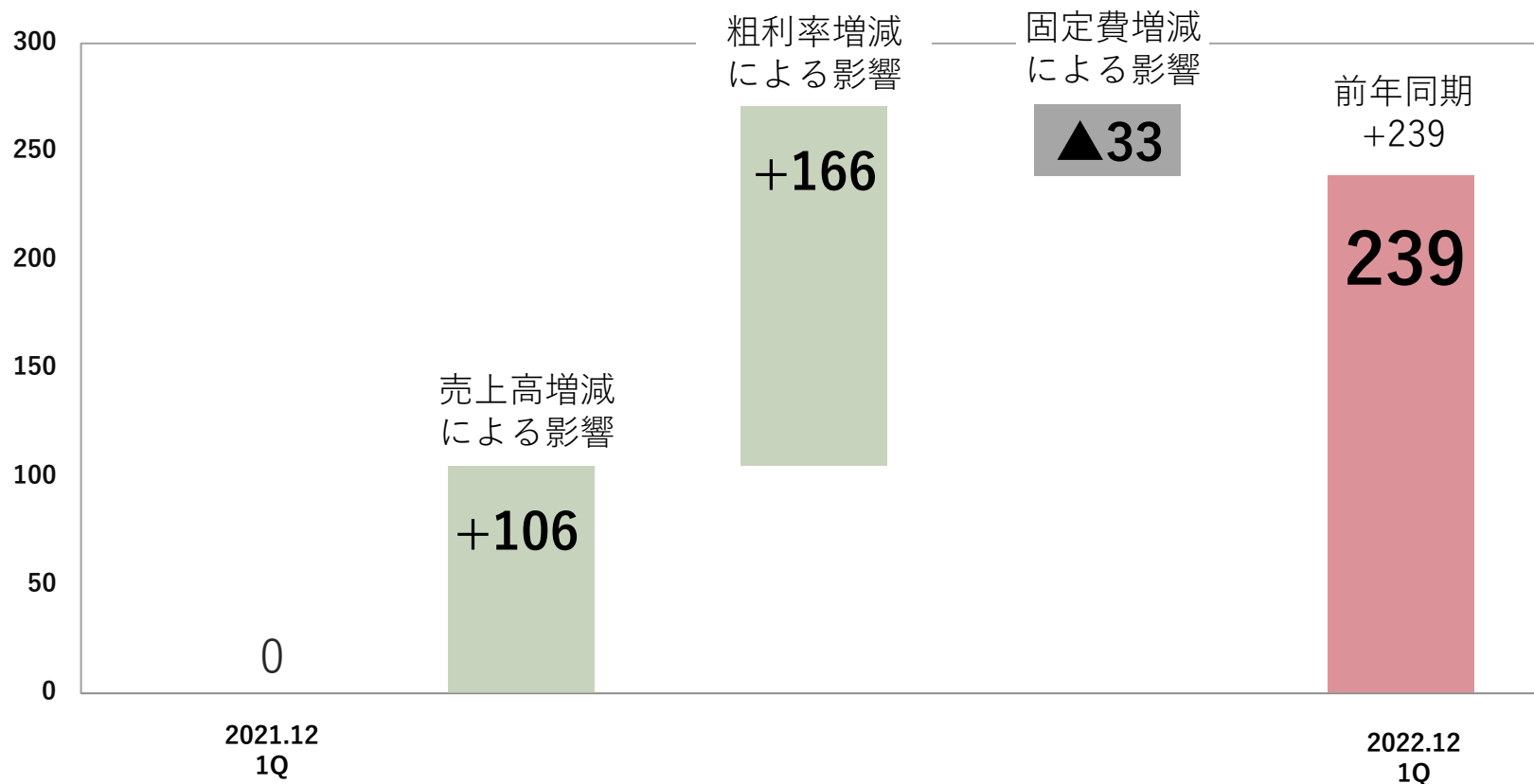
(単位：百万円)



\* 当社は2022年3月18日付で株式会社あじよを子会社化しております。これに伴い2022年12月期第1四半期より連結決算となっております。第1四半期につきましては、貸借対照表は連結対象としておりますが、損益計算書につきましては、第2四半期より連結対象となります。

増収効果、原価コントロール、販売管理費抑制が良好に推移した結果、前年同期比で、239百万円営業利益が上昇

(単位：百万円)



\* 当社は2022年3月18日付で株式会社あじょを子会社化しております。これに伴い2022年12月期第1四半期より連結決算となっております。第1四半期につきましては、貸借対照表は連結対象としておりますが、損益計算書につきましては、第2四半期より連結対象となります。

# 貸借対照表

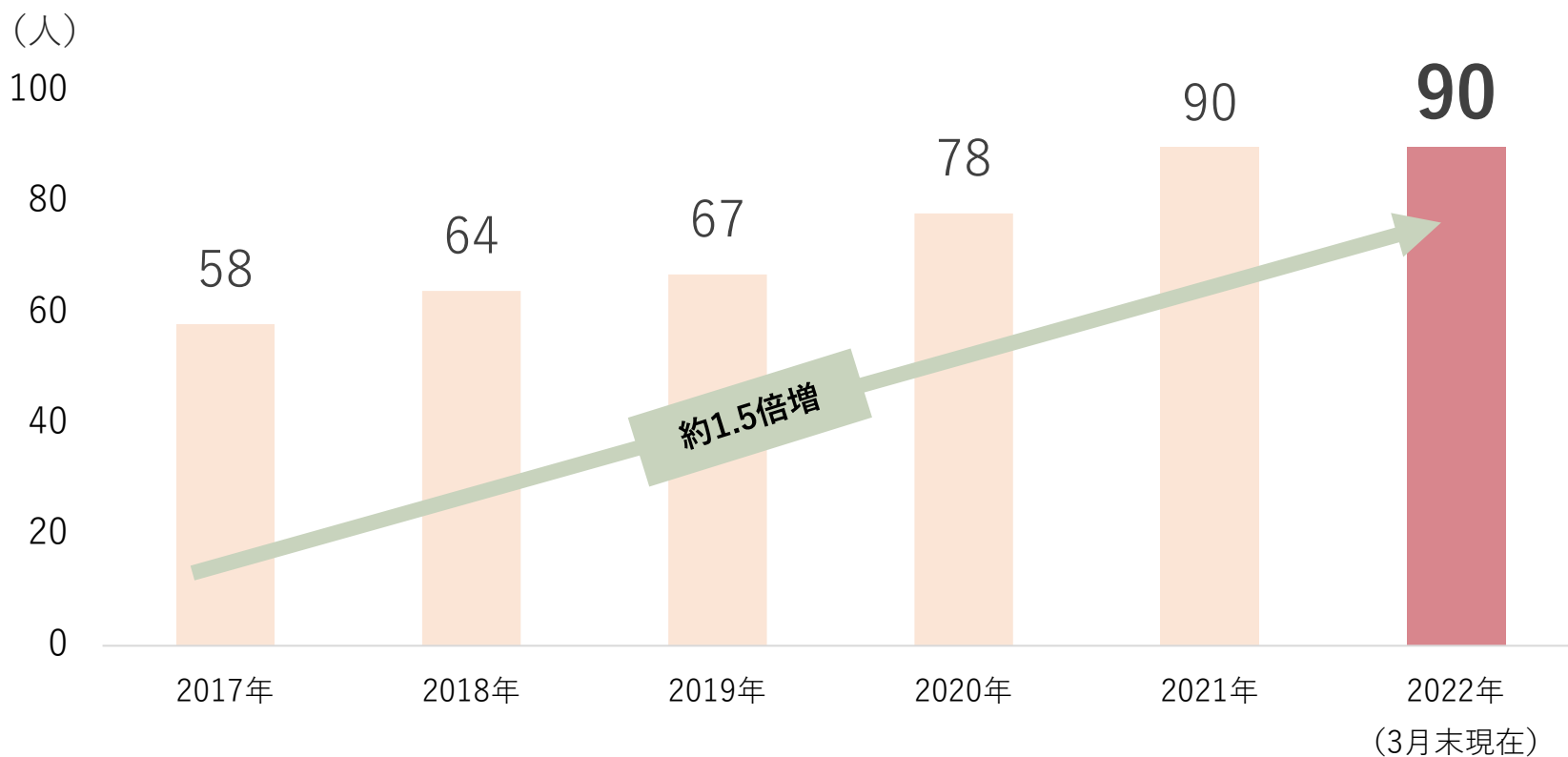
(単位：百万円)

	2021.12期	2022.12期 1Q	増減額
	単体	連結	
<b>流動資産</b>	1,529	<b>1,407</b>	▲122
現金及び 預金	802	769	▲33
売掛金	597	282	▲314
<b>固定資産</b>	569	<b>804</b>	+235
有形 固定資産	87	84	▲3
無形 固定資産	229	351	+122
投資その他 の資産	252	368	+116
<b>資産合計</b>	2,098	<b>2,211</b>	+112

	2021.12期	2022.12期 1Q	増減額
	単体	連結	
<b>流動負債</b>	311	<b>439</b>	+127
買掛金	107	115	+8
未払法人税	89	14	▲74
<b>固定負債</b>	80	<b>172</b>	+91
<b>純資産合計</b>	1,706	<b>1,599</b>	▲106
<b>負債・純資産 合計</b>	2,098	<b>2,211</b>	+112

\* 当社は2022年3月18日付で株式会社あじょを子会社化しております。これに伴い2022年12月期第1四半期より連結決算となっております。第1四半期につきましては、貸借対照表は連結対象としておりますが、損益計算書につきましては、第2四半期より連結対象となります。

大型プロジェクトにも対応できる人材育成を進めた結果、  
エンジニア数が2017年の上場時から約1.5倍増加し、体制強化も順調に進捗





## 特許取得

## 「金融商品ポートフォリオ取引システム」

特許出願しておりました「金融商品ポートフォリオ取引システム」の申請が受理され、特許庁より特許登録が完了しました。

【プロダクト化のイメージ】



## 【今後の事業展望】

当特許技術を利用したプロダクト開発と共に、金融事業者様・システムベンダー様向けに特許ライセンスの提供を検討いたします。

当社は今後も金融テクノロジーを基に、すべてのお客様と金融市場の発展に寄与してまいります。

## 「一般社団法人日本デジタル空間経済連盟」に加盟

当社は、日本デジタル空間経済連盟を通し、デジタル証券、暗号資産、NFTに代表される次世代金融をはじめ、メタバース、AI、デジタルコマース等のテクノロジーファースト型の経済活動の発展に寄与する事を目的に活動してまいります。

### ■日本デジタル空間経済連盟の概要

名称	一般社団法人日本デジタル空間経済連盟
所在地	東京都港区六本木一丁目6番1号
設立年月日	2022年4月15日
目的	業界横断の総合経済団体として、デジタル空間における経済活動を活性化し、日本経済の健全な発展と豊かな国民生活の実現に寄与すること
活動内容	<ul style="list-style-type: none"><li>デジタル空間経済発展に向けた、課題やニーズなど事業者の意見集約</li><li>政策提言、報告書の提出</li><li>政府、国内外の行政団体との対話</li><li>デジタル空間に関わる総合的な情報発信</li></ul>

日本デジタル空間経済連盟は、SBIホールディングス株式会社が2022年4月15日に設立。業界横断の総合経済団体として、デジタル空間における経済活動を活性化し、日本経済の健全な発展と豊かな国民生活の実現に寄与することを目的に、デジタル空間の経済発展が日本の経済発展に資するよう、政策提言や情報発信、様々な関係団体との対話等を行う団体です。

25.3%増収&5ヵ年中期経営計画の達成に向けた先行投資を遂行。  
 永続的な成長と持続可能な社会の実現に貢献しつつ、  
 中期経営計画初年度にあたり、確実な通期計画の達成を目指します。

(単位：百万円)

	2020.12期 単体	2021.12期 単体	2022.12期 連結（予）
売上高	2,110	2,553	<b>3,200</b>
営業利益	107	287	<b>300</b>
経常利益	107	289	<b>300</b>
当期純利益	73	189	<b>190</b>

2022年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期増減率は記載していません。

\* 当社は2022年3月18日付で株式会社あじよを子会社化しております。これに伴い2022年12月期第1四半期より連結決算となっております。

経営基盤の強化を最優先し、  
将来の事業展開と内部留保とのバランスを考慮し、利益配分を実施

## 1株あたり15円を予定

	2020.12期	2021.12期	2022.12期 (予)
配当金 (1株)	5円	15円	15円

ご参考) 中期経営計画 2022年~2026年

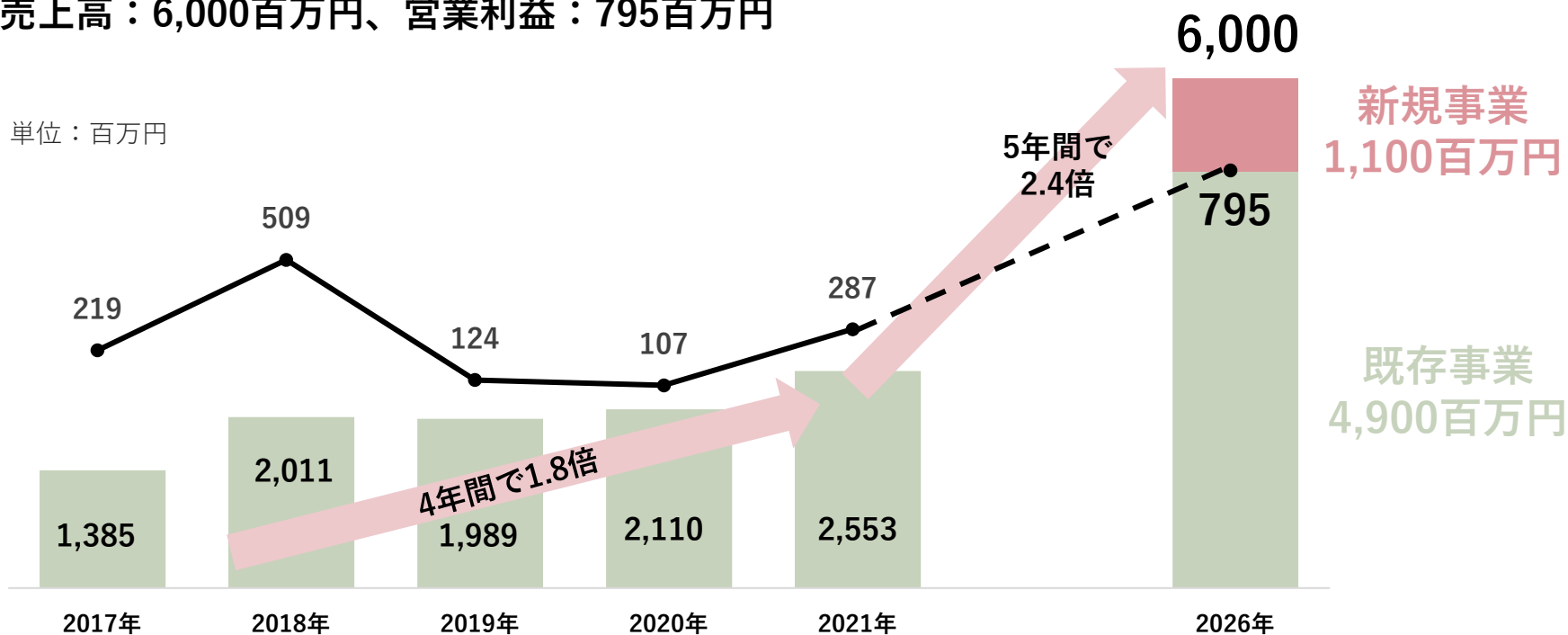
---

永続的な成長の礎を築くための計画として、2026年12月期を最終年度とする「中期経営計画」を策定。

テクノロジーファーストを遂行し、金融領域 +  $\alpha$  で  
2021年12月期比、2.4倍の企業規模を目指します。

2026年12月期目標

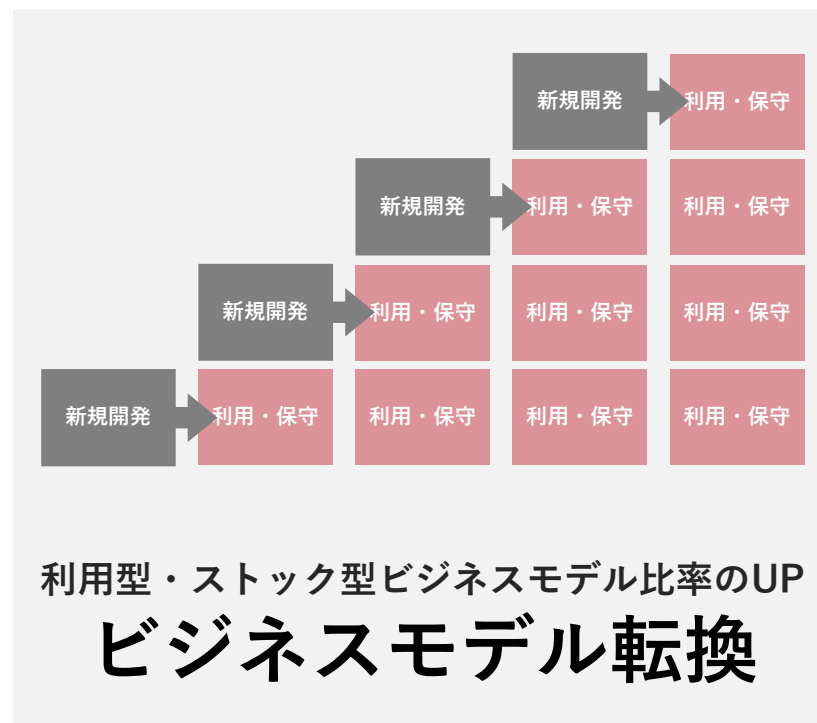
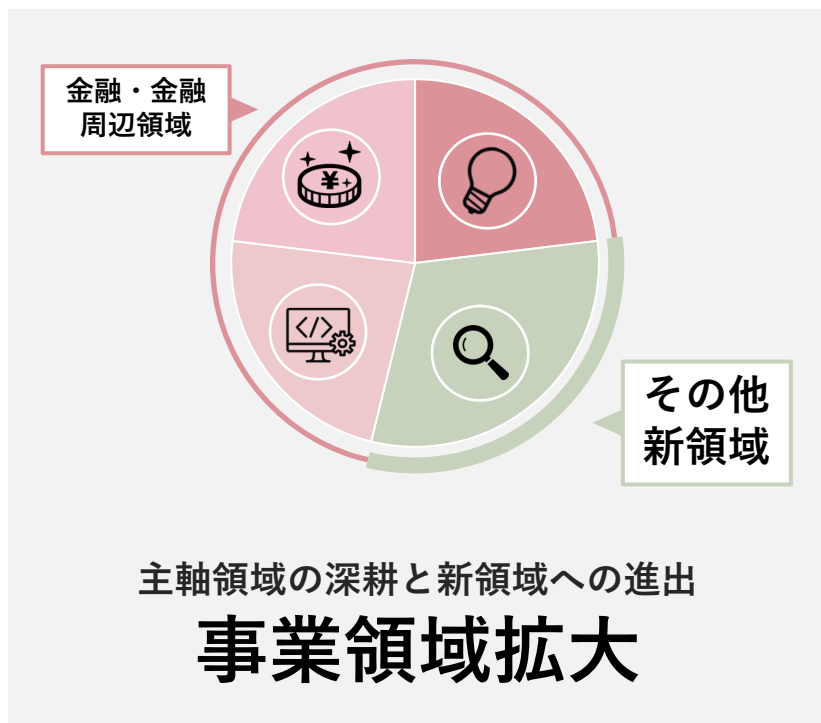
売上高：6,000百万円、営業利益：795百万円



## 当社の目指す姿①

# 持続的な成長を目指し2つの戦略を実施

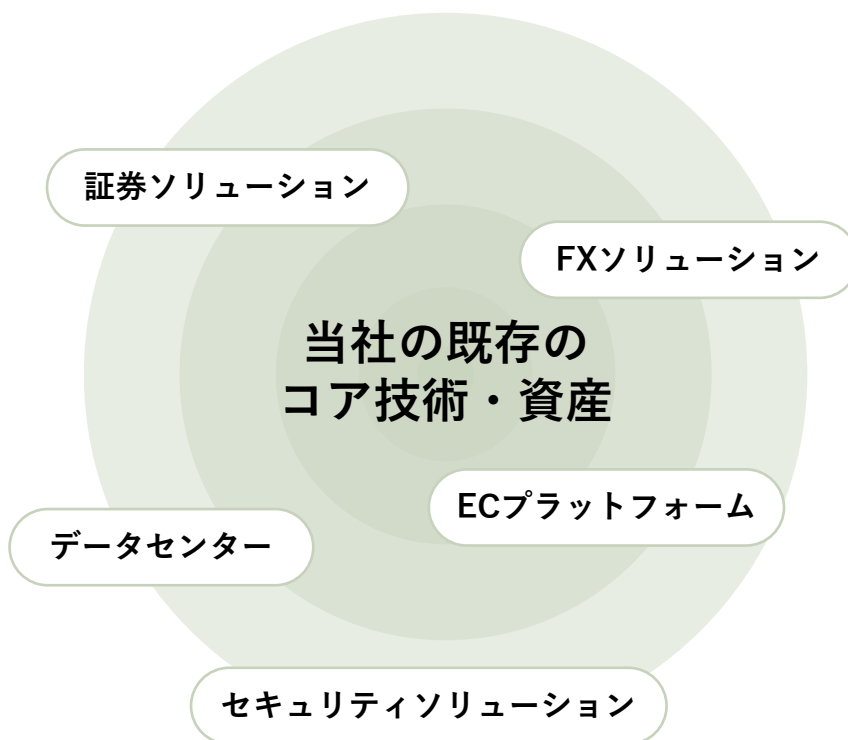
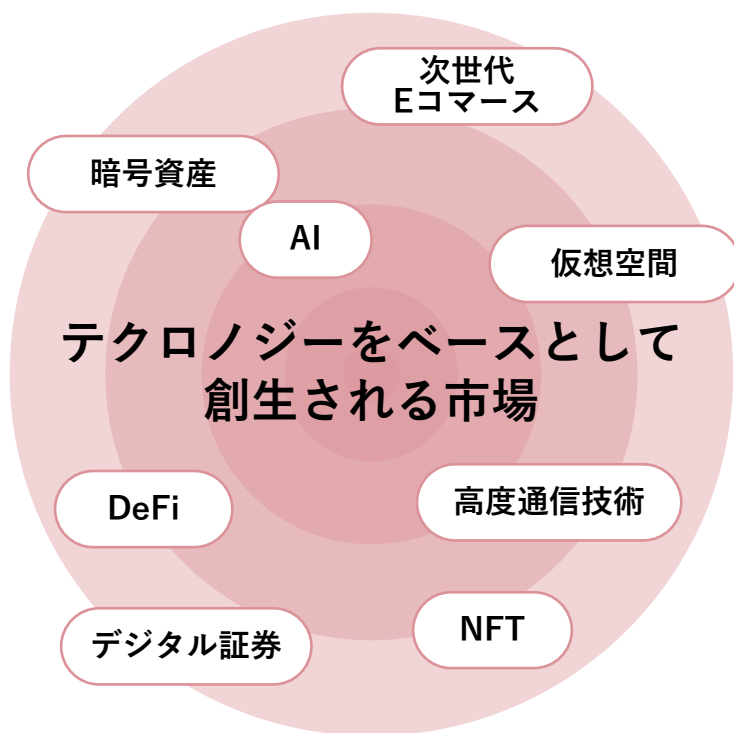
技術と金融知識を持ち合わせた専門性の高い集団



2つの戦略を継続して実施し、規模、収益力を拡大

## 当社の目指す姿②

次世代金融、新デジタル時代を見据えた  
テクノロジー・ファースト型の企業成長





## 目標数値

### 既存事業におけるストック率の向上

---

- ストック売上高目標 **3,074**百万円 (2021年12月期：1,400百万円)
- 既存事業におけるストック売上高比率 **62.7%** (2021年12月期：56.0%)

### 新規事業の育成

---

- 新規事業売上目標 **1,100**百万円

### 新規事業の育成

---

- エンジニア数 **210**人 (2021年12月期：90人)

## 2022年12月期の位置づけ

### 着実な拡大＋成長の足掛かりとなる基盤構築を遂行

5年で、2.4倍の企業規模の拡大を成し遂げるため  
既存事業の拡大、新規事業の本格展開開始に加え、  
フィンテックなどをはじめとする次世代への取り組みを開始。

#### 重点施策

- ✓ 主軸事業の深耕、証券インターネット取引システム領域のシェア拡大
- ✓ 新事業の収益化に向け、事業者との資本・業務提携の関係強化
- ✓ AI、IoT技術の利用や、フィンテックによる新しいサービスの開発
- ✓ 働き方改革、人手不足解消など生産性向上策といった高需要領域進出

**appendix**

---

## 技術と金融知識を持ち合わせた 専門性の高い集団

### 技術

- 最新テクノロジー
- ビッグデータ
- バーチャルリアリティ
- 音声認識
- AI
- RPA
- Fintech
- クラウド



### 金融知識

- 株式
- FX・CFD
- 仮想通貨
- 投資信託
- 保険
- 年金



## ビジネスモデル改革を進め

- ① 予期せぬ不採算案件の発生
- ② 製品及びサービスへの品質・価格に対する顧客からの要請
- ③ 同業他社との競争激化

に準備、対処し収益性向上を図ります。



技術者育成 + 環境整備  
全社横断 品質・生産性向上

当該資料は当社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等に関する記述は、資料作成時点で入手している情報に基づき当社が判断したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。投資を行う際には、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社トレードワークス  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105  
神保町三井ビルディング9F  
TEL :03-5259-6611 FAX:03-5259-6612  
<https://www.tworks.co.jp/>